

報告書の概要

1. 実態調査結果

深夜電力をご使用いただいているお客さま約73万件(廃止中含む)のうち、過去の使用状況などから、二重計量の可能性が否定できないお客さま約4万9千件のお客さま全数を対象に、現地に出向いて個々に配線の実態調査を行いました。

その結果、36件の二重計量を確認しました。

	調査数	二重計量確認数
契約中のお客さま	約3万7千件	35件
廃止中のお客さま	約1万2千件	1件
計	約4万9千件	36件

2. お客さまへの対応

二重計量となっていたお客さまについては、個別に事情を説明し、多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、二重にお支払いいただいた電気料金については、誤配線工事の状況を確認し、二重計量となった時期を協議・特定したうえで精算額を算定して払戻しを行っております。

(6月28日時点)

精算協議完了	精算協議中	計
32件	4件	36件

3. 発生原因

二重計量となったお客さまについて、

- ・誤配線の状況
- ・当該お客さま及び施工した電気工事業者への聞き取りや工事記録の確認
- ・当社で保有している電気使用量データの確認

により、原因の特定を行いました。

この結果、深夜電力新增設時等の電気工事業者の誤配線工事と、当社の配線確認が不十分であったことが原因であることが判明しました。

4. 再発防止策

- ・配線工事の適正施工と二重計量の再発防止を目的とした「教育用資料」を作成し、電気工事業者に対して、周知・教育を実施します。
- ・当社の計器工事施工時に配線状況の確認を実施します。
- ・電気温水器の新規契約や契約変更後の使用量データを基に二重計量の可能性があるお客さまを抽出し、現地調査するバックアップチェック体制を導入します。

以上